

学級が変わる！学校が変わる！

田辺市立芳養小学校

はじめに

今、小学校教育には「新しい時代を拓き、国際社会を主体的に生きる、心豊かな日本人の育成を旨とする教育の推進」が求められています。また、その裏付けとなる「確かな学力」や「規範意識の確立」も強く求められています。

本校の児童一人ひとりを見ましても、1年間の心身の成長は著しいものがあります。また、近年、児童一人ひとりの個性や価値観も、急速に多様化しつつあります。

それに加えて、少子化の進行（昭和60年度には本校児童数714名が、平成19年度では340余名に減少）等により、今、限られた友だち関係の中で遊ぶ児童が増えて、多くの友だちと遊んだり、勉強したりすることが苦手な児童が増えているようにも見受けられます。

そこで、本校では、来年度から、従来の2年ごとの学級・学年編成を抜本的に見直し、毎年、常にバランスのとれた学級・学年編成に取り組み、「子どもの夢と希望をはぐくみ」「自立と共生の基礎を培う学校づくり」を旨とした、新しい時代の義務教育の創造にチャレンジしたく考えます。

毎年：クラス替えの実施について

基本的な考え

毎年のクラス替えで、6年間の間に、より多くの友だちと同じクラスで学習することができます。また、少子化の中での限られた友だち関係から、多くの友だちのよりよい人間性に触れることが可能となります。そのような中で、友だちや先生との人間関係を向上させながら、子どもの社会性とより豊かな人間性を培うことを目指します。

- 1、小学校6年間を通じて、より多くの友だちと出会うことで、人間関係を広げ、コミュニケーション能力を高め、自立心を持つことができるようになります。
- 2、毎年、学習集団が替わり、新しい気持ち・新鮮な気分で今まで以上に子どもの学習意欲を喚起し、学級・学校生活に潤いを持つことができるようになります。
- 3、子どもが、他の子どもたちや大人（先生）の人柄・人格により多く触れる機会が持て、バランスのとれた人間関係の中で学習ができるようになります。
- 4、多くの友だちや先生と交わる中で、孤立する子どもを減少させ、よりよい学級集団の中で、社会性とよりよい交友関係を育てることが可能となります。